

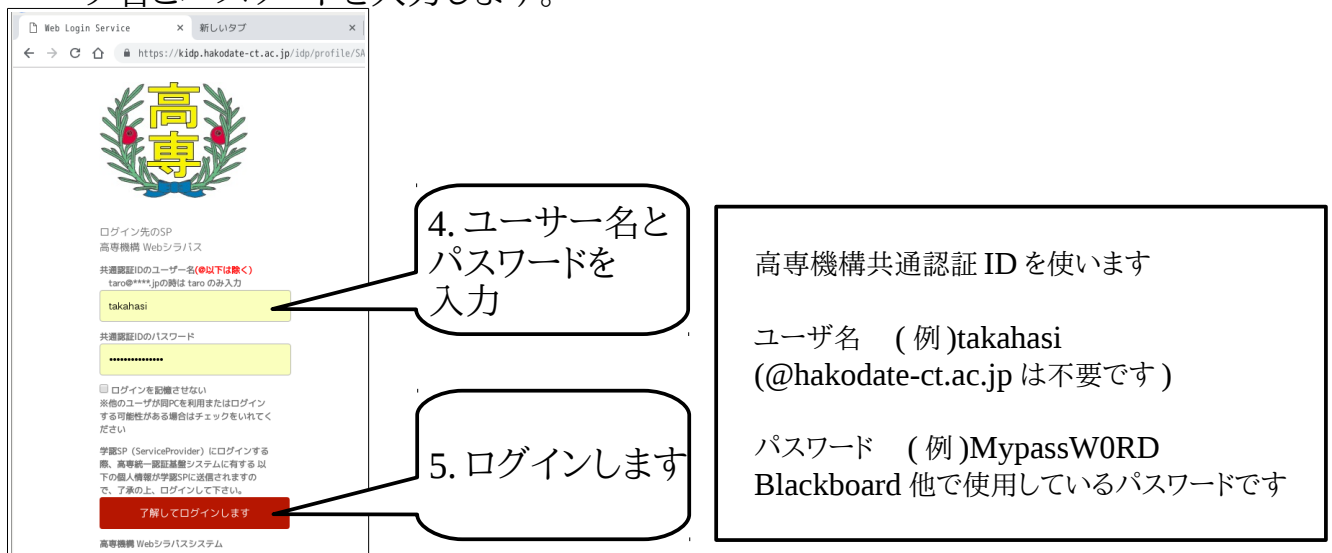
1 ログイン

web ブラウザを起動し、web シラバスにログインします。

<https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/Dashboard>



ユーザ名とパスワードを入力します。



2 担当科目が表示されます。
開講年度が次年度(2021 年)であることを確認してください。
ここで 2 つの作業ができます。

- ・ 学習内容について到達目標の水準を変更する
- ・ 科目についてシラバスを入力(修正)する

Webシラバス 公開ページ マスター 高橋 直樹

ホーム / 函館工業高等専門学校

表示科目: 担当科目

開講年度: 2021

PDF出力 Excel出力

2年 センシング演習基礎

2020カリキュラム 生産システム工学科 専門 必修 後期 中村 尚彦, 森谷 健二, 高橋 直樹

学習内容 シラバス Syllabus

3年 生産システム実習基礎

2020カリキュラム 生産システム工学科 人山田 一雅, 藤原 亮, 今野 慎介, 東海林 智也, 高橋 直樹

学習内容 シラバス Syllabus

3年 情報工学実験II

2019カリキュラム 生産システム工学科 情報コース 専門 必修 2nd-Q, 3rd-Q, 4th-Q 佐藤 恵一, 高橋 直樹, 後藤 尊, 河合 博之, 三島 裕樹, 今野 慎介

学習内容 シラバス Syllabus

論理回路(J)

2019カリキュラム 生産システム工学科 情報コース 専門 必修 選年 高橋 直樹

学習内容 シラバス Syllabus

一部の科目(グローバルマネジメント履修コース・ロボティクス履修コースを対象としていた科目)は **非開講** の表示ができます。

開講・非開講の扱いに間違いがありました際は、web シラバス担当(生産システム・高橋)まで、ご連絡をお願いいたします。

- ・ 令和 3 年度に開講する科目であるが、**非開講** となっている
- ・ 令和 3 年度は開講しない科目であるが、**非開講** がついていない

5年 データベース **非開講**

2017カリキュラム 生産システム工学科 グローバルマネジメント履修コース 専門 選択 後期 高橋 直樹

学習内容 シラバス Syllabus

データベース

2017カリキュラム 生産システム工学科 情報コース 専門 選択 後期 高橋 直樹

学習内容 シラバス Syllabus

今後開講しない科目は
非開講の表示がでています

2.1 学習内容の到達目標の水準を変更する

昨年度から変更がない場合、この作業は省略します。

必修科目では、現在の目標水準と設定水準を表示します。水準は学科(コース)で検討されたものを入力してください。この科目に設定している水準は1(最低)から6(最高)の範囲で選択できます。この科目で目標水準になるとは限りませんが、「1から5年生のいずれかの科目で目標水準を達成する」ようにお願いいたします。

Webシラバス 公開ページ マスター 高橋 直樹

ホーム 函館工業高等専門学校 / 生産システム工学科 / センシング演習基礎 / 到達目標

センシング演習基礎 開講年度: 2021

学習内容 シラバス

別科目の学習内容・シラバスを参照 別科目の学習内容・シラバスを内容コピー Excel出力

学習内容の到達目標

測定機器などの取り扱い方を理解し、基本的な安全を確保して、実験を行うことができる。

実験報告書を決められた形式で作成できる。

有効数字を考慮して、データを集計することができる。

力学に関する分野に関する実験に基づき、代表的波に関する分野に関する実験に基づき、代表的な光に関する分野に関する実験に基づき、代表的な

目標水準 設定水準 (2)物理I (3)物理II

0 未指定

1 知識・記憶

2 理解

3 適用

4 分析

5 評価

6 創造

設定後は 確定

設定後は、**確定** をクリックします。

選択科目には、目標水準・設定水準の表示はありません。

Webシラバス 公開ページ マスター 高橋 直樹

ホーム 函館工業高等専門学校 / 生産システム工学科 / データベース / 到達目標

データベース 開講年度: 2021

学習内容 シラバス

別科目の学習内容・シラバスを参照 別科目の学習内容・シラバスを内容コピー Excel出力

学習内容の到達目標

目標水準 設定水準

確定

2.2 シラバスを入力(修正)する
授業内容に変更がない場合でも、必ず実施してください。

- ・ 教科書/教材
- ・ 目的・到達目標

Webシラバス 公開ページ マスタ 高橋 直樹

ホーム / 函館工業高等専門学校 / 生産システム工学科 / データベース / シラバス入力

データベース 開講年度: 2021 入力言語: 日本語

別科目の学習内容・シラバスを参照 別科目の学習内容・シラバスを内容コピー PDF 公開ページ Excel入力 Excel出力

科目基礎情報

学校	函館工業高等専門学校	開講年度	2021
授業科目	データベース	科目区分	専門 / 選択
科目番号	0242	単位の種別と単位数	学修単位: 2
授業形態	授業	対象学年	5
開設学科	生産システム工学科	週時間数	2
開設期	後期		
教科書/教材	データベースシステム 北川博之 オーム社		
担当教員	高橋 直樹		

目的・到達目標

- 1 基本的概念を理解し、データベースの必要性が説明できる
- 2 リレーショナルデータベースにおける基本的な知識(正規化・各種制約)が説明できる
- 3 標準リレーショナルデータベース言語によるデータ操作ができる

ループリック

評価項目(到達目標)と到達レベルの対応を表形式にまとめ、入力します。評価項目は必要に応じて追加・削除できます。到達レベルはつぎの3つにします。

- 理想的な到達レベルの目安 (優秀である)
- 標準的な到達レベルの目安 (合格)
- 未到達レベルの目安 (不合格)

「〇〇が理解できる」ではなく、「説明できる」「作図できる」「計算できる」「設計できる」のように試験、レポート等で理解した内容を確認できるように記載してください。未到達レベルは「〇〇ができない」等否定的な記載になります。

ループリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
基本概念	要求を分析し、ER図をつくること ができる。	データベースの必要性が説明できる ER図からリレーションスキーマが導 ける。	データベースの必要性が説明できな い。
標準リレーショナル・データベース言 語	複雑なデータ操作を標準リレーショ ナルデータベース言語で記述できる	基本的なデータ操作を標準リレーショ ナルデータベース言語で記述できる。	標準リレーショナルデータベース言語に よるデータ操作ができない
リレーショナル・データベース基礎知 識	各種制約を理解し、更新不整合を防 止できる	正規化・各種制約・各種従属性が説明 できる	正規化・各種制約が説明できない
同時実行制御、障害対策	同時実行制御における各方式の違い が説明できる	同時実行制御、障害対策の必要性が説明 できる	同時実行制御、障害対策の必要性が説明 できない

評価項目は追加できます

到達レベルは3つです。
ここは操作しません。



この上に空白欄を1行追加します



この上に空白欄を1行追加しま



この行を削除します

- 概要
- 授業の進め方と授業内容・方法
- 注意点
- 授業の属性と履修上の区分(本年度追加)

授業の進め方に応じて✓をつけます。

アクティブラーニング(課題解決学習、グループワーク等)を実施している科目は「アクティブラーニング」に✓をつけてください。

教材をインターネットで提供する等情報技術を活用している科目は「ICT 利用」に✓をつけてください。

本年度に遠隔授業を実施した科目は「遠隔授業対応」に✓をつけてください。

担当する科目の知識を活用したことのある先生は「実務経験のある教員による授業」に✓をつけてください。

必修外選択科目は空白欄(1行テキスト)に「必修外選択」と記載してください。

学科の到達目標項目との関係	
函館高専教育目標 B	説明
教育方法等	
概要: 現代においてデータベースなしに社会活動を営むことはできない。しかし、一般市民はデータベースに直接触れることはなく、ほとんどの場合その存在に気がつかない。本講義では、データベース固有の概念や各種従属性に基づくデータベース設計法、標準リレーショナルデータベース言語による基本的な操作を学習し、データ資産を効率よくかつ安全に活用するために不可欠なデータベースに関する基礎知識を習得することを目標とする。	
授業の進め方と授業内容・方法: コンピュータによる実習は行わない。前半はリレーショナルデータベース固有の語句や概念を扱う。後半は主にリレーショナルデータベース内部の動作を扱う。 前提とする知識：関数型言語、論理型言語(Prolog言語)、Java言語・C言語等の知識があるとさらによい。 関連する科目：プログラミング言語論、オブジェクト指向プログラミング、Webシステム、論理と計算理論	
注意点: 評価の方法：定期試験の方法：定期試験により評価する。 函館高専教育目標 B	
授業の属性・履修上の区分	
☐ アクティブラーニング ☐ ICT 利用 ☐ 遠隔授業対応 ☐ 実務経験のある教員による授業	

必修外選択科目は「必修外選択」
(必修科目、選択必修科目は空欄)

- 授業計画

1 回ごとの授業の計画を記載します。週ごとの到達目標は「**〇〇が説明できる**」「**〇〇が計算できる**」のように**具体的に**記載します。

- 半期科目は授業 14 回+定期試験+答案返却(授業)1 回

授業計画は 16 週分あり、授業回数は 15 回

- 通年科目は(授業 14 回+定期試験+答案返却 1 回)×2

- 定期試験を実施しない科目は授業計画と授業回数が一致

半期科目は 15 週分(授業回数 15 回)、通年科目は 30 週分(授業回数 30 回)

授業計画			
		授業内容・方法	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週 ガイダンス 基本概念	科目の位置付、必要性、到達目標、留意点が理解できる データベースの基礎概念、語句が説明できる
		2週 実体関連モデルとデータ構造	実体関連モデル、整合性制約が説明できる
		3週 リレーショナル代数・リレーショナル論理	リレーショナル代数式、リレーショナル論理式が演算できる
		4週 リレーショナルデータベーススキーマ	ER図よりRDBスキーマが導出できる 関数従属性が説明できる
		5週 従属性と分解	各種従属性に基づく分解が説明できる
		6週 正規形(1)	1NF, 2NF, 3NF, BCNF が説明できる
		7週 正規形(2)	BCNF, 4NF, 5NF が説明できる
		8週 SQL(1)	標準RDB言語が必要な理由が説明できる
	4thQ	9週 SQL(2)	SQLによりDBの操作ができる
		10週 SQL(3)	SQLによりDBの操作ができる RDB言語とホスト言語(他高級言語)の関連が説明できる
		11週 索引(付ファイル, B木, B++木, 二次索引)	索引(付ファイル他)による検索アルゴリズムが説明できる
		12週 同時実行制御	トランザクション処理、並列処理における問題点と対策が説明できる
		13週 ロック	ロックングプロトコル、時刻印による同時実行制御が説明できる
		14週 障害回復	障害の種類と回復方法が説明できる
		15週 期末試験(学年末試験)	
		16週 答案返却・解答解説	間違った箇所を理解できる。

- 評価割合

試験、発表、課題等成績を決定する項目と割合を記載します。
さらに「**基礎的能力**」「**専門的能力**」等能力ごとの配分を記載します。

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	合計 100
基礎的能力	90	0	0	0	0	0	90
専門的能力	10	0	0	0	0	0	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
+ -							
							公開待ち 公開

[重要] 最後に

公開

編集作業を中断するときは **公開待ち** を選択します。後日、作業を再開できます。

編集が完了した後、**公開** をクリックします。

3 web シラバスを確認します。

作成した web シラバスを確認する方法は複数あります。

- web シラバス公式サイト(学生がアクセスするサイト)で確認
- web シラバスを編集した直後に確認
- web シラバス編集集中に確認

3.1 web シラバス公式サイト(学生がアクセスするサイト)

3.1.1 公式サイトにアクセスします。

<https://syllabus.kosen-k.go.jp/>

または函館工業高等専門学校 web サイト(<https://www.hakodate-ct.ac.jp/>)から「学科・専攻科」-「教育課程・シラバス・成績評価」-「本科・専攻科・シラバス」-「Web シラバスはこちら」

<https://www.hakodate-ct.ac.jp/>



独立行政法人国立高等専門学校機構
函館工業高等専門学校
National Institute of Technology, Hakodate College

学校案内	学科・専攻科	入学・入試	研究・産学連携
アドミッションポリシー			
教育課程・シラバス・成績評価			
教職員一覧			

「教育課程・シラバス・成績評価」

HOME > 学科・専攻科 > 教育課程・シラバス・成績評価

● 教育課程・シラバス・成績評価

本科 教育課程表

※入学年度により表が異なります。

- ◆一般科目
- ◆生産システム工学科
- ◆物質環境工学科
- ◆社会基盤工学科
- ◆留学生

専攻科 教育課程表

- ◆生産システム工学専攻
- ◆物質環境工学専攻
- ◆社会基盤工学専攻

本科・専攻科 シラバス

※以下のWebシラバスシステムで公開しています。
[Webシラバスシステムはこちら](#)
※実務経験のある教員による授業科目一覧はこちら

3.1.2 シラバス公式サイトが表示されます。 函館工業高等専門学校をクリックします。



高専Webシラバス 表示言語 (Language) 日本語 高橋 直樹 シラバス検索キーワード 検索

ホーム /

KOSEN
国立高等専門学校機構

国立高等専門学校では

シラバスを統一したフォーマットで作成し公開しています。

- 各校のシラバスはこのページの学校名をクリックしてください。各校のシラバスは学科別に表示されます。
- 学科ごとに「本年度開講科目一覧」「本年度の開講科目とMCCの対応」をご覧ください。
- 「カリキュラムマップ」「JABEEマップ」は順次公開します。
- キーワードでシラバスの内容を検索できます。検索範囲は表示されているページにより、全高専、学校、学科になります。複数のキーワードで絞り込む場合は、半角スペースで区切って下さい。

モデルコアカリキュラムをミニマムスタンダードとし各校の独自性を加えてカリキュラムを編成しています。

- モデルコアカリキュラムによる高専の教育についてはリンク先をご覧ください。 ([モデルコアカリキュラム](#)) ([モデルコアカリキュラム改訂版PDF](#))
- 各学科の開講科目とモデルコアカリキュラムの関係は「本年度開講科目とMCCの対応」をクリックしてください。

学校一覧

北海道

函館工業高等専門学校 苫小牧工業高等専門学校 釧路工業高等専門学校 旭川工業高等専門学校

3.1.3 該当する学科・専攻科から「本年度の開講科目一覧」をクリックします。



高専Webシラバス 高橋 直樹 シラバス検索キーワード 検索

ホーム / 函館工業高等専門学校

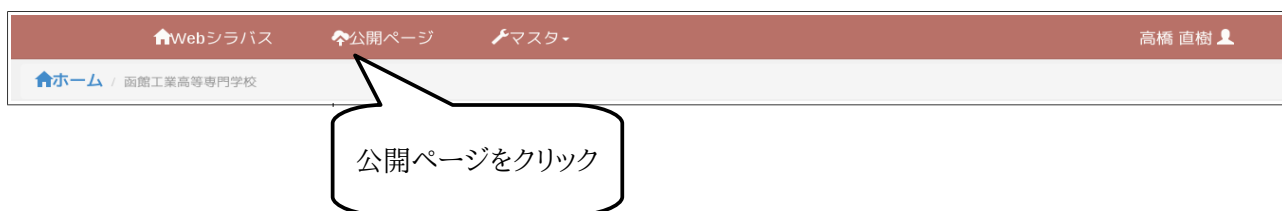
函館工業高等専門学校

学科一覧

生産システム工学科	本年度の開講科目一覧	本年度開講科目とMCCの対応	カリキュラムマップ	JABEEマップ
物質環境工学科	本年度の開講科目一覧	本年度開講科目とMCCの対応	カリキュラムマップ	JABEEマップ
社会基盤工学科	本年度の開講科目一覧	本年度開講科目とMCCの対応	カリキュラムマップ	JABEEマップ
生産システム工学専攻	本年度の開講科目一覧	本年度開講科目とMCCの対応	カリキュラムマップ	JABEEマップ
物質環境工学専攻	本年度の開講科目一覧	本年度開講科目とMCCの対応	カリキュラムマップ	JABEEマップ
社会基盤工学専攻	本年度の開講科目一覧	本年度開講科目とMCCの対応	カリキュラムマップ	JABEEマップ

3.2 web シラバスを編集した直後に確認

3.2.1 web シラバス編集中はこのようなメニューバーが出ています。



3.2.2 「公開ページ」をクリックすると「シラバス公式サイト」を表示します。
函館工業高等専門学校をクリックします。
以降「3.1.2 シラバス公式サイトが表示されます。」と同様の手順になります。



3.3 web シラバス編集直後に確認

現在編集しているシラバスは **公開** をクリックした直後から、公開ページを確認できます。

3.3.1 シラバス編集中はこのような画面が出ています。公開ページをクリックします。

データベース 開講年度: 2021 入力言語: 日本語

別科目の学習内容・シラバスを参照 別科目の学習内容・シラバスを内容コピー

PDF 公開ページ Excel入力 Excel出力

科目基礎情報			
学校	函館工業高等専門学校	開講年度	2021
授業科目	データベース		
科目番号	0242	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	生産システム工学科	対象学年	5
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	データベースシステム 北川博之 オーム社		
担当教員	高橋 直樹		

3.3.2 さきほど編集していた科目について、シラバスを表示します。以降「3.1.6 シラバスが表示されます。」と同様の手順になります。

高専Webシラバス 高橋 直樹

データベース PDF

科目基礎情報			
学校	函館工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)
授業科目	データベース		
科目番号	0419	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	生産システム工学科	対象学年	5
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	データベースシステム 北川博之 オーム社		
担当教員	高橋 直樹		

目的・到達目標

1. 基本的概念を理解し、データベースの必要性が説明できる
2. リレーショナルデータベースにおける基本的な知識(正規化・各種制約)が説明できる
3. 標準リレーショナルデータベース言語によるデータ操作ができる
4. 同時実行制御と障害対策が説明できる